

○全国個人立専修学校協会第21回定例総会・研修会

6月12日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として全国個人立専修学校協会の第21回定例総会が、委任状を含め40名の出席により開催された。来賓として赤池誠章参議院議員が挨拶を述べ、河内隆行会長が議長に選出され、芳賀進理事と安藤誠一郎理事が議事録署名人。承認された議題は以下のとおり。

【第1号議案 平成28年度事業報告】

【第2号議案 平成28年度決算報告ならびに監査報告】

【第3号議案 平成29年度事業計画案】

【第4号議案 平成29年度収支予算案】

【第5号議案 課程別設置者別部会の改編に伴う課題への今後の対応策について】

改編案は課程別部会として統合を目指すため、現行の「設置者別」の未解決課題について個別に協議する場を確保することや、実現に向けた具体的な活動が行える組織体制の整備が必要であることが確認された。

総会終了後、研修会が開催され、講師の箭内雄太斎藤総合税理士法人が「個人立専修学校に係る相続税・贈与税」をテーマに、配布資料に基づき説明。後半は、河内会長をコーディネーターとして、出席者との質疑応答を行った。